

タグリツ錠80mg/日導入 入院される方へ

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

経過	入院日	2日目～8日目	9日目～13日目	退院日(14日目)
検査 治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 入院時に身長、体重を測ります。 入院時必要に応じて血液検査、心電図、レントゲン撮影などの検査を行います。 血栓の危険がある時は、予防処置させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日検温をおこないます。 必要に応じて血液検査、レントゲンの検査をおこないます。 		
内服薬 注射	<ul style="list-style-type: none"> 現在飲んでいるお薬(健康食品含め)を確認します。看護師にすべてお渡しください。 お薬手帳をご持参ください。 薬剤師から薬の説明があります。 入院後医師の指示にしたがって、内服を再開します。 	<ul style="list-style-type: none"> タグリツのお薬を1日1回医師の指示に従い服用します。 		<ul style="list-style-type: none"> 頓用薬を希望される場合は、退院前日までにお知らせください。 退院前に薬剤師より、再度内服薬の説明があります。 
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に食事に制限はありません。食事内容の変更も可能ですので看護師に声をかけてください。栄養士も介入します。 副作用により食欲がなくなったり、吐き気がでることがあります。好きな物や口当たりの良いもので栄養を補いましょう。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴できます。 手洗いうがいをして感染を予防する習慣をつけましょう。毎食後歯磨きをして口の中を清潔に保ちましょう。(虫歯や歯周炎などがある場合は、口内炎が悪化しやすいので、治療開始前の歯科受診をお勧めします。) 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 下痢が続く場合は、主治医や看護師にお知らせください。 			
指導 説明 書類	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院前の様子や生活習慣などについてお伺いします。 医師より治療説明があります。 ネームバンドがついているか確認します。 「化学療法を受けられる方へ」(緑のファイル)を、入院時にお持ちください。 タグリツの同意書を看護師に渡してください。 貴重品は自己管理をして下さい。 禁煙して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 咳や息切れ、発熱などの症状が悪化したときは、すぐに主治医や看護師にお知らせください。 副作用に皮膚の障害(発疹・皮膚乾燥・かゆみ・爪の変化)、下痢が出ることがあります。主治医や看護師にお知らせください。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院決定時、医師より退院について説明があります。 退院は原則10時です。退院時、次回受診の説明があります。 副作用に皮膚の障害(発疹・皮膚乾燥・かゆみ・爪の変化)、下痢が出ることがあります。注意して観察して下さい。 咳や息切れ、発熱、呼吸困難などの症状が悪化したときは、すぐに外来診察を受けてください。 「化学療法を受けられる方へ」(緑のファイル)を、毎回外来受診時・入院時にお持ちください。 飲み残し、飲み忘れのないようにしましょう。
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 状態に合わせて必要時リハビリを行います。 			<ul style="list-style-type: none"> 必要時退院に向けてリハビリより指導があります。

※入院時には、こちらのパンフレットをお持ちください。病状により退院日は前後します。